参考１

職業能力開発体系（様式１）

活用区分	職業能力開発（人材育成）の流れ
標準化 共同化 実践化 目標化	職場における部門ごとの職務内容を調査 ⇒ 職業能力の体系の作成 ⇒ 職業能力開発ニーズの調査（経営方針及び企業戦略に基づくニーズ、経済・産業の動向に基づくニーズ、職業能力自己評価によるニーズ等） ⇒ 能力開発目標の設定及び確認 ⇒ 職業訓練の体系の作成 ⇒ 訓練の実施 ・OJT ・Off-JT ・自己啓発(SD) ⇒ 職務遂行能力の向上 / ｴﾝﾌﾟﾛｲ・ｱﾋﾞﾘﾃｨの向上

職業能力体系

部門 ＼ レベル	L1	L2	L3	L4
経営		【経営】 監査	経営管理 内部統制	経営企画
営業	【営業】 営業活動 商談	営業管理 貿易実務	営業計画 貿易管理	
生産管理		【マーケティング戦略】 マーケティング戦略 調査・企画 顧客審査		
		【技術営業】 技術営業		
		【資材調達】 購買管理 発注・外注		
		【工程管理】 在庫・物流管理	生産計画 生産統制 原価管理	技術情報戦略
		【設備管理】 設備管理実務 機械保全	設備管理推進	
	【品質保証】 測定・検査		品質管理 品質改善	ＩＳＯ９００１の推進、統括
	【工具管理】 工具管理			
			【貿易管理】 貿易管理	
技術		【開発】 試作計画 試作	新製品開発計画	
		【機械設計】 基本設計 包装機械の設計 部品設計 機構解析 構造解析 取扱説明書の作成		
		【電気設計】 基本設計 制御システム設計 制御回路設計 画像処理システム設計 アナログ回路設計 ディジタル回路設 プリント基板設計 高周波回路設計 信号処理回路設計 電力変換回路設計 ノイズ対策		
		【ソフトウェア設計】 基本設計 制御プログラミン GUI設計		
		【技術管理】 技術資料管理		
製造		【治工具の設計製作】 治工具の設計製作		
	【仕上げ加工】 手仕上げ ボール盤加工			
		【旋削加工】 旋盤加工 ＮＣ旋盤加工		
		【フライス加工】 フライス加工 マシニングセンタ加工		
		【研削加工】 平面研削加工 円筒研削加工		
		【研磨】 研磨		
		【レーザ加工】 レーザ加工		
		【放電加工】 ワイヤ放電加工 形彫り放電加工		
		【溶接】 溶接		
		【プレス加工】 プレス加工		
		【熱処理】 一般熱処理		
	【機械組立】 組立 測定	部品取付 配管 調整	組立管理・改善	
		【電気組立】 制御盤組立・検査		

職業訓練の体系

能力開発区分 ＼ ｶﾘｷｭﾗﾑﾓﾃﾞﾙﾚﾍﾞﾙ	1	2	3	複合・結合
職能別	職業能力の体系の各部門の能力要素が能力開発の目標であり、この目標達成に向けた訓練名称を様式５以下で示す。			
階層別	従業員層、管理者層、経営者層のそれぞれの階層に求められる次のような職業能力が能力開発の目標であり、この目標達成に向けた訓練名称を様式５以下で示す。 （従業員層） 新入社員、中堅社員、主任・監督者等の区分に応じて有すべき、勤労意欲の啓発、積極性・協調性の涵養、自主性の涵養、リーダーシップの養成、問題点の把握解決手法等の職業能力が目標である。 （管理者層） 管理者としての役割認識、意思決定や問題解決能力の養成、部下の育成等の職業能力が目標である。 （経営者層） 経営者としての経営方針策定、経営判断、経済・産業動向の把握分析等の職業能力が目標である。			
課題別	企業戦略、経済・産業の動向等にマッチした課題が能力開発の目標であり、この目標達成に向けた訓練名称を様式５以下で示す。			

活用区分	職業能力開発（人材育成）の流れ

標準化
共同化
実践化
目標化

職場における部門ごとの職務内容を調査 ⇒ **職業能力の体系の作成** ⇒ 職業能力開発ニーズの調査（経営方針及び企業戦略に基づくニーズ、経済・産業の動向に基づくニーズ、職業能力自己評価によるニーズ等） ⇒ 能力開発目標の設定及び確認 ⇒ **職業訓練の体系の作成** ⇒ 訓練の実施（・OJT ・Off-JT ・自己啓発(SD)） ⇒ 職務遂行能力の向上 / ｴﾝﾌﾟﾛｲ・ｱﾋﾞﾘﾃｨの向上

職業能力体系

部門 ＼ レベル	L1	L2	L3	L4
保守サービス		【製品検査】 組立後精度検査 【納入・納品】 機械の据え付け　コミッショニング(性能検証) 【保守サービス】 顧客対応 機械・電気保守　保守後精度検査 アップグレードサービス		
事務管理	【総務】 庶務 渉外	情報システム管理 施設管理 環境管理	広報	
	【人事】 採用事務	人事計画	研修　人事管理	研修企画
		【労務】 労務実務 福利厚生	労務管理	安全・衛生管理
			【法務】 法務管理	
	【経理】 会計	財務・税務 原価計算	管理会計　予算管理	原価管理

職業訓練の体系

能力開発区分 ＼ ｶﾘｷｭﾗﾑﾓﾃﾞﾙﾚﾍﾞﾙ	1	2	3	複合・結合
職能別	職業能力の体系の各部門の能力要素が能力開発の目標であり、この目標達成に向けた訓練名称を様式５以下で示す。			
階層別	従業員層、管理者層、経営者層のそれぞれの階層に求められる次のような職業能力が能力開発の目標であり、この目標達成に向けた訓練名称を様式５以下で示す。 （従業員層）　新入社員、中堅社員、主任・監督者等の区分に応じて有すべき、勤労意欲の啓発、積極性・協調性の涵養、自主性の涵養、リーダーシップの養成、問題点の把握解決手法等の職業能力が目標である。 （管理者層）　管理者としての役割認識、意思決定や問題解決能力の養成、部下の育成等の職業能力が目標である。 （経営者層）　経営者としての経営方針策定、経営判断、経済・産業動向の把握分析等の職業能力が目標である。			
課題別	企業戦略、経済・産業の動向等にマッチした課題が能力開発の目標であり、この目標達成に向けた訓練名称を様式５以下で示す。			